

平成29年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	41	学校名	静岡県立静岡商業高等学校	校長名	眞木 万平
------	----	-----	--------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
1	基礎学力の向上	①授業診断を学期末毎に実施する。 ②平均2時間程度の家庭学習を確保する。 ③全商検定3種目1級100人以上を目指す。	・毎学期、授業診断を実施した。 ・家庭学習の習慣化がある者は44%であった。（研修課調べ） ・全商3種目1級獲得者は96人で、県内トップであった。	B	・家庭学習の習慣化については、学習の目的を明確にし、より一層の充実を図りたい。 ・アクティブラーニングの手法を取り入れた授業を実践する教員が増えた。
2	進路指導の充実	①就職内定率及び進学率100%を目指す。	・就職希望者は129名全員の就職が決定した。 ・進学希望者については152名中151名(99%)が決定した。 ・面談や集会での情報提供、相談の機会を設けた。	A	・進路先の拡大に全職員で対応できた。 ・生徒の勤労観・職業観が身につけ始めている。今後は、他課や学年との連携が今以上に必要である。 ・進路の手引きの改定を継続して行う。 ・看護学校進学者については、より早い時期から準備をさせたい。 ・進学後に必要となる学力の育成に取り組みたい。
3	基本的生活習慣の定着	①毎日の遅刻者を5人以下にする。 ②自転車に関する不快行為及び運転による事故をゼロにする。	・1日の遅刻者数の平均は2.7人であった。 ・自転車事故は12件であった。	B	・朝の服装指導に全職員が分担していくことで、遅刻者の平均が3人以下を維持した。 ・自転車マナーに関しては改善されておらず、継続指導が必要である。
4	心身の鍛錬と健全な精神の育成	①各部活動県大会以上の出場を達成する。 ②全校生徒対象に薬学講座を年1回以上、性教育講座を各学年年1回以上行う。	・運動部については、全ての部活動で県大会以上に出場した。 ・1学期に薬学講座を全校生徒対象に行った。また健康講座(今年は食に関するテーマ)を2学期に全校生徒を対象に行った。	A	・部活動全員加入の制度と活動内容の対策が必要である。 ・今年は「食」をテーマに保健委員会での研究や、講演を行ったことは、大変有意義であった。
5	保護者や地域との連携	①PTA総会は30%以上、地区懇談会は90%以上の参加率を目指す。 ②中学生一日体験入学は800人以上、公開授業は200人以上の参加人数を目指す。 ③同窓会と連携してHPを充実し、情報発信に努める。 ④地域の特色を活かした商品の開発と販売を実践する。	・PTA総会の参加率は22.3%、地区懇談会の参加率は91.6%であった。 ・体験入学の参加者は1,456人、公開授業の参加者は291人であった。 ・同窓会と連携し、HPの改善に努めた。 ・課題研究やマーケティングの授業を通じて実践できた。	A	・PTA総会後には、クラス懇談会を実施し、多くの出席があった。 ・体験入学、公開授業とも、目標人数を達成し、本校をPRする良い機会となった。 ・販売実習や生徒商業研究発表大会、ふじのくに実学チャレンジフェスタ、地域創生研究発表会等で実践できた。
6	いじめや体罰の根絶	①アンケートを実施し生徒や保護者の意見等を丁寧に聞くことで根絶に努める。	・毎学期末いじめ・体罰アンケートを実施した。 ・学年、相談室、保健室との連絡を密にした。	A	・クラス担任を中心に家庭との連絡を密にとると同時に、学年、相談室、保健室との情報共有を行ったことから、全ての対応が迅速にできた。